

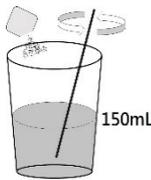
保可淨散剤を使用した泌尿道造影検査のための薬剤指導書

※※本指導書は泌尿道造影検査用に限ります。他の検査に使用する場合は、当院の検査部門にお問い合わせください※※

★第1回目の使用時間 検査前日の午後3時

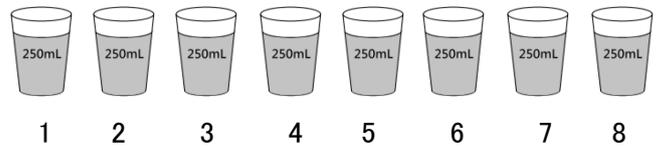
A. 薬剤の調製:

1. カップに 150 ミリリットルの常温の水を加えます。
2. 1 パックの保可淨散剤を入れ、少なくとも 5 分間かき混ぜ、溶解させます。この過程で温度が少し上昇することがあります。
3. 完全に溶解したら、直ちに 150 ミリリットルの薬液を飲み干します。
4. 残った薬粉がある場合は、さらに少量の水を加えて飲み干します



B. 大量の水分補給:

1. 薬を飲んでから 1 時間後に、15 分ごとに 250 ミリリットルの水を少なくとも 8 回以上摂取し、合計で 2000 ミリリットル以上を摂取します。排泄物が透明な状態になるまで続けてください。
2. 大量の水を一度に摂取しないでください。これは腸の清掃結果に影響を与える可能性があります。
3. 薬剤を飲んでから約 2 時間後に効果が現れ始めます。



★第2回目の使用時間

午前中の検査: 前日の夜 9 時、12 時以降絶食・絶水

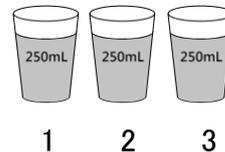
午後の検査: 検査当日の朝 7 時、8 時以降絶食・絶水

A. 薬剤の調製:

1. カップに 150 ミリリットルの常温の水を加えます。
2. 1 パックの保可淨散剤を入れ、少なくとも 5 分間かき混ぜ、溶解させます。この過程で温度が少し上昇することがあります。
3. 完全に溶解したら、直ちに 150 ミリリットルの薬液を飲み干します。
4. 残った薬粉がある場合は、さらに少量の水を加えて飲み干します。

B. 継続的な水分補給:

1. 薬を飲んでから 30 分後に、250 ミリリットルの水を 3 回補給し、合計で 750 ミリリットルにします。
2. 薬剤を飲んでから約 1 時間後に効果が現れ始めます。



注意事項

1. 薬粉を直接飲まないでください。使用前に指示に従って薬を調製してください。薬を前もって調製しないでください。
2. 服用後に低血糖の症状がある場合は、糖分を含む飲み物やスポーツドリンク、飴(キャンディー)を舐めて症状を緩和してください。
3. 慢性疾患の患者は、清腸剤を服用する 2 時間前または 6 時間後に慢性疾患の薬を服用してください。
4. 夜 7 時までには排便がなく、または重度の不快感がある場合は、医療スタッフに相談してください。
5. 1 回目の清腸剤を服用後に重度の膨満感や腹痛がある場合は、症状が和らぐまで第 2 回目の服用は控えてください。継続して排便があれば、不快な症状は緩和されるはずですが。
6. 最終的に便は黄色く澄んだ液体になり、便の塊や残渣がないのが理想的な状態です。
7. 飲食に関する注意事項

検査前 2 日からは低残渣食を	清腸剤の使用開始後は無残渣食を摂ることが推奨されます	検査の 2 日前からは使用しないでください
白いお粥、白いトースト、蒸しパン、白い麺、ビーフン、プレーンケーキ、スポンジケーキ、皮を剥いた魚の肉(油で揚げない)、蒸し卵、卵スープ	無渣飲料、流動食、クリアスープ、スポーツドリンク	牛乳及び乳製品、チーズ、野菜、果物、高繊維豆乳

静脈腎盂造影(intravenous pyelography; IVP または intravenous urogram; IVU)は、腎臓、尿管、膀胱などの泌尿系をチェックする特別な X 線検査で、結石、腫瘍、閉塞、またはさまざまな奇形などの診断に役立ちます。

